

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について（3月分）

（1）問い合わせ件数

平成17年3月1日～平成17年3月31日

118件

（2）内訳

① 食品安全委員会関係	23件
② 食品健康影響評価関係	39件
③ 食品安全基本法関係	0件
④ リスク管理一般関係 (うち食品表示に関するもの)	55件 (3件)
⑤ その他	1件

*うちBSE関係 76件

（3）問い合わせの多い質問等

【食品安全委員会関係】

Q. 用語集の改訂版が出ましたが、今回の改訂の趣旨と変更点などについて教えてください。

A. 平成16年3月に「食品の安全性に関する用語集」を作成して以降、食品安全モニターや食の安全ダイヤルを通じて、様々なご意見・ご指摘をいただきました。

今回の改訂は、これらを踏まえ、関心の高い用語等を追加するとともに、図表の活用を含め、できるだけ分かりやすい表現への見直しに加えて、索引の追加や分類の見直しなどを行ったものです。

今後とも、お気づきの点などありましたら「食の安全ダイヤル」までご連絡ください。

【食品健康影響評価関係】

Q. 食品安全委員会がBSEの国内対策の見直しについて昨年10月に評価要請を受けて以降、これまで食品安全委員会においてどのような議論がされているのか教えてください。

A. 食品安全委員会においては、我が国でBSEが確認されてから約3年の間に蓄積されたデータや科学的知見を収集・整理し、それらに基づき、日本におけるB

ＳＥ対策について議論を行い、昨年９月に「中間とりまとめ」として公表したところです。

この「中間とりまとめ」を踏まえ、昨年１０月には厚生労働省及び農林水産省から、

- ① と畜場におけるＢＳＥ検査対象をすべての牛から２１ヶ月齢以上の牛への変更
- ② 特定危険部位（ＳＲＭ）の除去の徹底
- ③ 飼料規制の実効性確保の強化
- ④ ＢＳＥに関する調査研究の一層の推進

の４項目についての国内のＢＳＥ対策の見直しに関する評価要請（諮問）がありました。

プリオン専門調査会においては、諮問以降８回にわたって中立公正な立場から、科学的な議論を尽くした結果、去る３月２８日の会合において、報告案が取りまとめられたところです。

本報告案においては、と畜場におけるＢＳＥ検査対象月齢を見直す場合については、その見直しにかかわらず、食肉の汚染度は「無視できる」～「非常に低い」と推定され、この結果から、検査月齢の線引きがもたらす人に対するリスクは、非常に低いレベルの増加にとどまるものと判断される、とされています。

なお、本報告案については、３月３１日の食品安全委員会において報告され、広く国民からの意見・情報の募集を開始したところであり、４月２７日までの４週間の募集期間が終了した後、食品安全委員会において再度審議することになります。

Ｑ．これまでのプリオン専門調査会での審議は国内のＢＳＥ対策についての安全性評価でしたが、米国産牛肉に関する評価への対応について教えてください。

Ａ．米国産牛肉の輸入再開問題に関しては、評価要請を受けていない今の段階で、予断を持ってお答えすることはできませんが、いずれにしても、食品安全委員会としては従来どおり、食品健康影響評価については、中立公正な立場から科学的議論を尽くしてまいります。

Ｑ．１６頭目の感染牛が発見されましたが、これまでに日本で確認されたＢＳＥ感染牛について、月齢と品種など、その概要について教えてください。

Ａ．厚生労働省及び農林水産省からの報告によれば、３月２７日までに確認されている日本でのＢＳＥ感染牛は、１６頭で、月齢については、２１、２３、４８、６２、６４、

67、68、73、80、81、83、94、95、102、103、108 ヶ月齢の牛が確認されており、品種については、16 頭すべてホルスタインとなっています。

詳細は、下記概要のほか、厚生労働省の牛海綿状脳症（B S E）等に関する Q & A を参照してください。

(<http://www.mhlw.go.jp/topics/0103/tp0308-1.html#22q2>)

我が国で確認された B S E 感染牛の概要

(2005 年 3 月 27 日現在)

	確認日	牛の種類	出生日	月齢	臨床症状	確認検査
1	2001 年 9 月 10 日	乳牛	1996 年 3 月 26 日	64 カ月	起立不能	WB+, IHC+, HP+
2	2001 年 11 月 21 日	乳牛	1996 年 4 月 4 日	67 カ月	所見なし	WB+, IHC+, HP-
3	2001 年 12 月 2 日	乳牛	1996 年 3 月 26 日	68 カ月	所見なし	WB+, IHC+, HP+
4	2002 年 5 月 13 日	乳牛	1996 年 3 月 23 日	73 カ月	左前肢神経麻痺、 起立困難	WB+, IHC+, HP+
5	2002 年 8 月 23 日	乳牛	1995 年 12 月 5 日	80 カ月	起立不能、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP-
6	2003 年 1 月 20 日	乳牛	1996 年 2 月 10 日	83 カ月	起立障害	WB+, IHC+, HP+
7	2003 年 1 月 23 日	乳牛	1996 年 3 月 28 日	81 カ月	所見なし	WB+, IHC+, HP-
8	2003 年 10 月 6 日	去勢牛	2001 年 10 月 13 日	23 カ月	所見なし	WB+, IHC-, HP-
9	2003 年 11 月 4 日	去勢牛	2002 年 1 月 13 日	21 カ月	所見なし	WB+, IHC-, HP-
10	2004 年 2 月 22 日	乳牛	1996 年 3 月 17 日	95 カ月	起立困難、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP+
11	2004 年 3 月 9 日	乳牛	1996 年 4 月 8 日	94 カ月	股関節脱臼(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+
12	2004 年 9 月 13 日	乳牛	1999 年 7 月 3 日	62 カ月	所見なし	WB+, IHC+, HP+
13	2004 年 9 月 23 日	乳牛	1996 年 2 月 18 日	103 カ月	起立不能、股関節脱臼	WB+, IHC+, HP+
14	2004 年 10 月 14 日	乳牛	2000 年 10 月 8 日	48 カ月	窒息死(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+
15	2005 年 2 月 26 日	乳牛	1996 年 8 月 5 日	102 ヶ月	所見なし(死亡牛)	WB+, IHC+, HP+
16	2005 年 3 月 27 日	乳牛	1996 年 3 月 23 日	108 ヶ月	所見なし	WB+, IHC+, HP+

※「確認検査」欄は、各種検査（WB：ウェスタンブロット法による検査、IHC：免疫組織化学検査、HP：病理組織検査）の結果（+：陽性、-：陰性）を示したものの。